

# 地域連携センター Newsletter

## 学識経験者としての県内市町村での貢献活動

### 前橋市市政功労者表彰受賞について

令和4年3月、看護学部の大澤真奈美教授が、前橋市の「前橋市市政功労者表彰」を受けました。

大澤教授は前橋市環境審議会委員として長年にわたり前橋市の環境行政に協力し、市政発展に貢献したことから、その功績が称えられ、今回表彰されたものです。

前橋市環境審議会委員の仕事は、前橋市の環境政策に関わる計画策定、計画の変更の際し、地域住民の健康を守る任務を担う、公衆衛生看護に関わる学識経験者の立場から意見を提案するというものです。今年3月までに関わった計画は、『前橋市地球温暖化防止実行計画』『前橋市環境基本計画』『前橋市新エネルギー導入アクションプラン』などです。

受賞に際し大澤教授は「前橋市には本学の実習にご協力頂いていることから、感謝の気持ちを含めて市の事業にできるだけ協力させて頂きました。気が付くと10年が経過していました。本学に所属しているからこそ前橋市の事業にも関わることができ、続けてこられました。これからも協力できることはぜひ協力していきたいです。」と挨拶されました。



看護学部  
大澤真奈美 教授

## 公開講座

- 【テーマ】 ご存じですか？『保健所の仕事』どんな時に頼ればいいのか・頼れるの？
- 【日時】 令和4年8月20日（土）13：00～15：00
- 【会場】 群馬県立県民健康科学大学 大講義室
- 【講師】 公益財団法人 群馬県生活衛生営業指導センター 経営指導員 川崎 英弘
- 【申込方法】 詳細は本学ホームページをご覧ください。

## お知らせ

### 対面およびWEBでのオープンキャンパスを開催します！

- 【開催日】 2022年8月6日・7日（土・日）
- 【時間】 午前の部 9：30～10：30 11：00～12：00  
午後の部 13：30～14：30 15：00～16：00

**完全予約制**

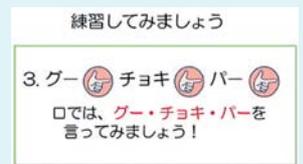
今年のオープンキャンパスは対面とWEBの両方で実施します。詳細は本学ホームページをご覧ください。たくさんの皆さんの参加をお待ちしています！



## 【令和3年度 第2回公開講座「手・足・口を使った頭の体操で脳を活性化しよう」が開催されました】

看護学部 講師 樋口 友紀、福島 昌子

感染予防対策のため、第2回公開講座はオンデマンド方式のWeb開催となりました。全体の受講者数は101名、再生回数は367回で、多くの方々に繰り返しご視聴いただきました。認知症は、年を重ねれば誰にでも起こりうる身近な病気です。少しでも認知症の発症時期を遅らせることが出来るように、生活における工夫点をお話しし、本学の学生が実際に手・足・口を使った頭の体操を紹介しました。画面越しではありますが、参加者の皆様が笑顔で楽しく実践できるように想像しながら動画を作成しました。参加者の皆さまからは、「自分の好きな時間に視聴でき学生さんと一緒に講義を楽しめた」「地域のサロンで体操を実施し、たくさん笑って楽しんでもらえた」等の嬉しい感想を頂きました。コロナ禍においても高齢者の方々の活動性が低下しないような取り組みを継続していきたいと思えます。



## 【2021年度 第2回医学物理学講演会が開催されました】

診療放射線学研究科 教授 佐々木 浩二

がんプロフェッショナル養成プラン関東がん専門医療人養成拠点事業に沿って、放射線治療教育プログラム「第2回医学物理学講演会」が令和4年2月20日に開催されました。今回は最近のトピックとして心房細動定位放射線治療の臨床導入に関する基礎知識、および体表面画像誘導放射線治療 (SGRT) の原理と臨床を学び、さらに臨床データ解析において避けて通れない不確かさの評価と利用方法についての講演を行いました。幅広い知識を一度に深めることができる良い機会であり実務的にも役立つ内容が多く、知識の再構築ができたと好評でした。



## 【診療放射線学研究科博士後期課程吉田達也さんの学会表彰について】

診療放射線学研究科 教授 佐々木 浩二

大学院診療放射線学研究科 博士後期課程1年の吉田達也さんが、4月14日～17日に横浜市で開催された第78回日本放射線技術学会総会学術大会において研究成果を発表し、学会賞 Bronze Awardを受賞されました（受賞演題：Evaluation of Crystalline Lens Exposure Dose Depending on Field Size in kV-CBCT）。日本全国の研究者が研究成果を発表するこの学術大会において受賞されたことはとても誇れることです。社会人大学院生として仕事との両立を図りながら研究を継続した成果が高く評価されました。今後も本学大学院から医療に貢献できる研究成果を継続して発信していきたいと考えています。



吉田さんと表彰状